

# 第36回

# 藤里町交通安全町民大会

10月24日、総合開発センターにおいて、第36回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全功労者や交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、家庭・職場・地域から交通安全思想の普及に努め、交通ルールの遵守とマナーの向上に努めることなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれてくるもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、各地区の交通安全推進員や関係者など、80名余が参加しました。

初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて佐々木副町長よりあいさつが述べられたあと、交通安全功労者の方々と交通安全作品コンクール入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。

その後、浅利教育長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、続いて作文の部で最優秀賞を受賞した生徒1名、優秀賞を受賞した児童2名を代表して山田愛莉さんが作文の朗読をしました。そして、最後に藤里町交通安全母の会代表が大会宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

## 《入選》

- ◇淡路海地さん（藤里小学校5年）  
「死亡事故ゼロの町」
- ◇中嶋匠智さん（藤里小学校5年）  
「安全な自転車乗り」
- ◇菊池愛奈さん（藤里小学校6年）  
「今、私にできること」

## 【ポスターの部】

- 《最優秀賞》
- ◇菊池愛奈さん（藤里小学校6年）  
「スマホ運転 危険です」

## 《優秀賞》

- ◇石岡陽花さん（藤里小学校1年）  
「みぎひだりみてね」
- ◇佐藤瑛太さん（藤里小学校6年）  
「酒を飲んだら運転やめよう」

## 《入選》

- ◇「いそいそでもくぐっちゃダメ」
- ◇菊池洗太郎さん（藤里小学校3年）  
「歩きハットホン事このもと」
- ◇市川翔大さん（藤里小学校4年）  
「子どもとお年よりを守ろう」
- ◇夏井優花さん（藤里小学校4年）  
「シートベルトは命を守る」
- ◇小山羽音さん（藤里小学校5年）  
「命を守るシートベルト」
- ◇水戸芹奈さん（藤里小学校5年）  
「こんなこと 絶対ダメ！」
- ◇小田原未呼さん（藤里小学校6年）  
「これからも安全な運転を」
- ◇石田佳一郎さん（藤里小学校6年）  
「交通ルールを守ろう」

## 交通安全作品コンクール

### 【作文の部】

#### 《最優秀賞》

- ◇山田愛莉さん（藤里中学校1年）  
「安全な町、みんなの意志をつないで」

#### 《優秀賞》

- ◇安部真心さん（藤里小学校6年）  
「交通事故のない町だからこそ」
- ◇小田原未呼さん（藤里小学校6年）  
「小さな努力は、大きな幸せ」

## 作品紹介

『安全な町、みんなの意志をつないで』



山田愛莉さん

藤里町は「交通事故死亡ゼロ」が5、60日を超えました。しかし、隣の二ツ井町はまだ千日も越えていません。そこで私には疑問が生まれました。とても近い町なのにどうしてこんなに違うのかということ。二つの町は隣り合った町ですが、私は、町の位置（場所）や規模が関係しているのではないかと思います。藤里町は、他の町へ続く国道や、主要地方道路などはありません。つまり車の交通量が多くないということ。また大きな建物もありません。そして、何より人口が少なく、お年寄りが多いです。車を運転されるお年寄りもいれば、運転されないお年寄りもいます。長年町に住んでいる人生の先輩として、交通安全に気を配って過ごされていると思います。一方藤里町の若い人は、ほとんど仕事をしていたり日中の車の出入りが少ないのではないかと思います。この他に信号があまりないということも影響しているでしょう。信号が少ない分、車も人も気を付けて交差点を通行しているのだと思います。それにして藤里町はどうして5、60日以上も記録が続いているのでしょうか。